

年 組 名前:

# 「岡島頼み」転換を 新店舗集客に期待も

甲府中心街 商店主ら思い複雑

岡島百貨店が現店舗での営業を終えた14日、県内経済界からは閉店を惜しむ声とともに、「岡島に頼らない新たな町づくりが必要」との声が上がった。一方で、甲府市の再開発ビル「ココリ」に移転して3月3日に営業を再開する新店舗について「これまで以上に集客が期待できる」「地方百貨店の新たなモデルケースになり得る」と前向きに受け止める人もいた。(山本昂輝)

＝本文記事1面

「岡島は商業の核になる施設であり、地域のコミュニティだった」と指摘したのは、山梨経済同友会の入倉要代表幹事。戦前から80年以上続いた歴史を踏まえ、「地域の高齢者には青春時代を過ごした岡島を大切に、いまだに待ち合わせ場所にする人もいる。岡島が担ってきた役割は大きい」と続けた。

岡島百貨店の跡地には高層マンションの建設が予定されている。県経営者協会の佐々木宏明会長は「マンションができることで定住人口は増えるが、岡島が規模を縮小することで流入人口は減る可能性がある。地域活性化には各商店が独自性を出し、人を呼び込む町づくりをしていくことが一層重要になる」と指摘した。

地元商店街からは「岡島に頼った集客からの転換が必要」との声が聞かれた。甲府商店街連盟の長坂善雄会長は「これまで岡島の客が商店街に流れることで中心街が活性化してきたが、今後は観光やグルメなどで商店街自体の魅力を高めていかないとけない」と危機感を示した。

甲府商工会議所の進藤中会頭は、新店舗について「十分に集客が期待できる」と指摘。化粧品テナントの多くが維持されることを踏まえ、「売り場面積は縮小するが、売れ筋の店舗は残る。県内初出店の店もあり、開店当初はお客さんが増加するはず。むしろ集客力は向上すると考えている」との見方を示した。

進藤会頭は全国的に百貨店の閉店が進んでいるとして、「岡島はこれまでとは違った商業施設に生まれ変わり、地域に良い経済効果をもたらすと思う。地方百貨店の新たなモデルケースになることを期待している」と話した。

(2023年2月15日付 山梨日日新聞7面)

問1

岡島百貨店が、現店舗での営業を終了しました。閉店を惜しむ声とともに、何が必要と声が上がりましたか。

.....

問2

新店舗への前向きな考えを2つ答えてください。

.....  
.....

問3

甲府の中心街のシンボルであった店舗ビル跡地には、高層マンションの建設が予定されています。あなたは、中心街を活性化させるには、何が必要だと考えますか。

.....  
.....